

# 明るい神奈川

平和で明るい神奈川県政をつくる会

〒231-0062

神奈川県横浜市中区桜木町3-9 6F

TEL045-212-5855 FAX045-212-5745

<https://www.akarui-kanagawa.jp>



現在と未来の県民が幸せに生き働ける神奈川をめざす

現県知事が推進する

## リニア新幹線は大問題

### 学業より『経済』を優先

現県知事はリニア新幹線を推進するために、神奈川の駅となる予定地（橋本駅のすぐ近く）にあった県立相原高校を移転させました。

相原高校は畜産や造園・土木・園芸の専門学科があり、県内各地から生徒が集まってきました。専門学科のために広い農場なども整備され、緑豊かな校舎でしたが、今は無残な姿になっています。相原高校は、駅から一定の距離がある場所に移設されました。

現知事は、利便性を重視し、高校生の学業よりも『経済』を優先させたものです。しかし、本当に経済的にも効果があるのか、かなり怪しくなっています。



橋本駅前の相原高校跡地。駅建設のため地下深くまで掘削されている

必要あるの？

採算はとれるの？

できるの？

リニア新幹線は当初から、必要性や採算性について疑問の声が出されていました。しかし、国は推進をはかるため財政投融资として3兆円の支出を決定し、なにが何でも進める姿勢です。もし、採算がとれなければ、国民が負担を負うことになります。

リニアが完成すれば、「品川～名古屋間が最短で40分」とされていますが、神奈川県民の多くは、駅が設置される相模原・橋本まで行くのに時間がかかります。しかも県内の新駅には1時間に1本しか止まらない可能性があります。しかも現在の新幹線より料金が高くなるのは間違いありません。

もともと需要を過大に見込んでいる採算についても、コロナ禍でますます厳しくなっています。政府自らがテレワークなどを推奨しており、新幹線のビジネス利用は減少しています。人口減少が止まらず、少子高齢化が進むことから、観光目的での利用も減ることが予測されます。

予定している2027年開業も、かなり難しくなっています。現県知事が進めている車両基地などの用地取得は終わっていません。静岡県知事は水源問題から着工を許可しておらず、完成の見通しは立っていません。

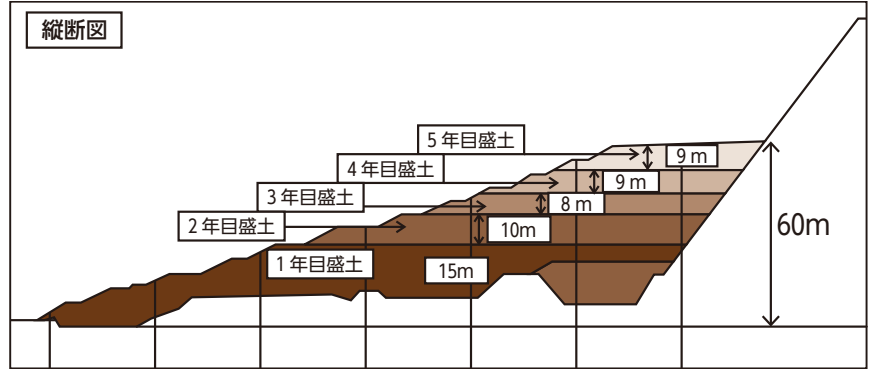


# 県民にもさまざまな悪影響

## 危険な残土処理

リニア新幹線はほとんど地下を通るため、大量の残土が発生します。この処理をどうするのが各地で問題になっています。

相模原市では、採石場に右図のように残土を盛土することについて、市当局が許可しました。しかし、熱海の土石流災害では盛土の危険性が明らかになりました。申請書によれば、60mもの盛土がなされる計画です。



残土が盛り土される予定の採石場

## 横浜市民の水は大丈夫か？

しかも、この盛土現場の直下には、横浜市民の水源の1つである道志川が流れています。残土から有害物質が漏れ出すことや、盛土が崩れるなどの危険性があり、安全性にも大きな影響を与えかねません。

相模原市内では、リニアに伴う都市開発にかかわって住民の立ち退き問題も起こっています。工事が本格化した際の工事車両による危険性も心配されています。

## 本当に地上に影響はないの？

リニア新幹線は、地下40m以下の深い部分を通ります。法改定によって、この大深度については、地上の地権者の権利が及ばないとされ、勝手に工事が進められます。

しかし、同じく大深度で建設が進められている外環道工事では、地上部で陥没が発生する被害が現に発生しています。陥没だけではなく、振動や低周波音による住民の健康被害も明らかになっています。リニア工事でも同様の問題が起きる危険性は高いものがあります。



## 無謀な事業を止められる 県知事 を

上記のほかにも、新幹線の4倍の電力を消費し温暖化対策に逆行する問題や、トンネルが水源を貫き、川などが枯渇する危険性、電磁波による人体への影響など、様々な問題・課題がありますが、JR東海や国・県などから納得できる説明はありません。

無謀な事業は今からでも止める必要があります。県民の要望に基づき、毅然とした態度をとれる県知事が必要です。